

第3号様式(第4関係)

令和7年度子どもを産み育てやすい環境づくり強化事業実施計画書

市 町 村 名	三戸町				
区 分	地域少子化対策重点推進事業				
個 別 事 業 名	八戸圏域連携中枢都市圏縁結び支援事業				
実 施 期 間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日				
所 要 見 込 額	補助対象経費	57,230円 (補助金所要額)	43千円		
市町村における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け	<p>【全体像】 当町では、人口減少を克服していくため、平成27年度に策定した「まち・ひと・しごと創生三戸町総合戦略」に基づき、移住定住促進対策(社会減対策)や少子化対策(自然減対策)などを計画的に推進してきたところである。この中で結婚支援については八戸圏域連携中枢都市圏の市町村やおおもり出会いサポートセンターと連携し、出会いの機会・場の提供に取り組んできた。しかし、本町の合計特殊出生率は、全国や県の数値を下回っており、出生数についても、15歳から49歳の女性人口の減少等を要因に、減少傾向で推移している。</p> <p>【本事業の位置づけ】 結婚を希望する方の出会いの場を創出するため、八戸圏域の8市町村(八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町)において、婚活イベントを実施する。</p>				
個別事業の内容	<p>(個別事業の内容) 結婚を希望する方に対し、出会いの機会の場を提供するため、婚活イベントを開催する。 ○婚活イベント(年2回) ・参加予定者数(定員):100人(男女各20人×1回・男女各30人×1回) ・内容:婚活パーティーなど ・対象:おおむね20歳~49歳の独身者</p>				
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値	現状値
	合計特殊出生率		%	現状より増加 (R7)	1.36 (R5)
参考指標	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.36 (R5)	
	婚姻件数		件	20 (R5)	
	婚姻率			-	

	KPI項目	単位	目標値	現状値
	個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	<アウトプット>		
イベント参加人数		人	100 (R7)	100 (R6)
<アウトカム>				
交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)		%	100 (R7)	62.5 (R6)
希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)		%	-	-
結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-	
上記「事業内容」について、 国補助金活用の有無、 有る場合はその名称				

(注)

1 「所要見込額」には、本補助金の対象経費支出予定額を記入すること。併せて、「補助金所要額」には「所要見込額」に補助率を乗じた額(千円未満切り捨て)を記入すること。

2 「市町村における少子化対策の全体像及びその中の本事業の位置付け」には、これまでの市町村における少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題と、それらを踏まえ、自治体における少子化対策の全体像及びその中の個別事業の位置付けを記載すること。

3 「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。

4 「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、本交付金のEBPMのアウトカム指標も踏まえ、市町村の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各市町村は少なくとも令和7年度終了時点で、各市町村において効果検証を実施し、県にその結果を報告すること。

5 「参考指標」には、各市町村の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率のほか、その他参考となる指標を記載するとともに、必要に応じて、その推移を記載すること。

6 「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、本交付金のEBPMのアウトカム指標及び市町村における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。(過去に設定したKPIも記載すること。)